

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

5年 6月 21日

(宛先) 松山市長



提出者

住 所 松山市谷町甲160-1

氏 名 株式会社野間工務店 松山支店  
支店長 宍戸弘志

電話番号 089-911-8588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 野間工務店松山支店
事業場の所在地	松山市谷町甲160-1
計画期間	令和4年 4月 1日 ~ 令和5年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	完成工事高(松山支店) 72,585千円
③ 従業員数	6名(松山支店)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生(現場) → 委託処理業者が収集・運搬 → 最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

支店長 — 工務→現場代理人→委託処理業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
	分別の徹底
②計画	(今後実施する予定の取組)
	今後もこれまでと同様の取組をおこなう

産業廃棄物の分別に関する事項

現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	廃プラ、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、管理型混合廃棄物、蛍光灯等、廃石綿等種類別の分別をきちんと行う
計画	(今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	今後もこれまでと同様の取組をおこなう

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
	①現状	(これまでに実施した取組) 実施予定なし
	②計画	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
	①現状	((これまでに実施した取組) 実施予定なし
	②計画	実施予定なし
自ら行う産業廃棄物の埋立処分または海洋投入処分に関する事項		
	①現状	(これまでに実施した取組) 実施予定なし
	②計画	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	① 現状	((これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選択
	② 計画	(今後実施する予定の取組) 同上

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

